

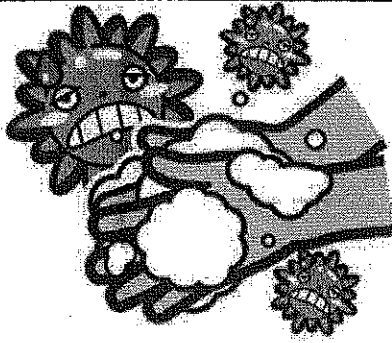
犬山白寿苑だより

濫觴館便り

インフルエンザ予防について

寒さの厳しい季節ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年の冬は寒波の影響で記録的な大雪になり、雪による災害に見舞われているところもあるそうです。幸いにもこの地方では大きな被害はありませんでしたが、まだまだ寒い日は続くと思われまします。私共も車の運転などをするとときは、特に気をつけています。

また、風邪やインフルエンザが流行する季節でもあり、新型インフルエンザの脅威もまだ治まったとはいえない状況にあります。白寿苑では、職員の手指消毒・マスクの着用を徹底しており、感染を拡大させないよう細心の注意を払っています。職員も外出の際には、マスクを着用する、人の多い場所は避ける、帰宅時に手洗い・うがいをするなどして感染に気をつけています。



インフルエンザの流行により利用者様方の外出の機会が少なくなってしまうかもしれませんが、代わりに苑内でできる様々なレクリエーションを考え、実施してきました。年末の忘年会では、お寿司や湯豆腐などの料理を準備し、皆様それぞれ好みものを召し上がられました。

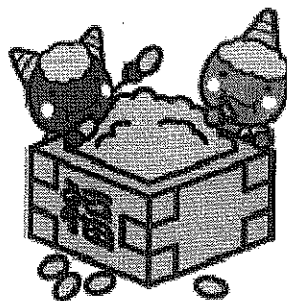
お正月には紅白にわかれ、天井から糸でつながった凧をつるし、それを巻き上げる凧あげや職員の頭に紙風船をつけてそれを割る、風船割りなどでとても盛り上がり、利用者様も楽しまれた様子でした。

また行事とは少し違いますが、濫觴館では午後のひとときに足浴を行っています。はじめは「足湯なんて・・・」と渋々参加する利用者様もありましたが、今では足湯をしながら職員とボール遊びをしたり、お茶を飲みながら会話を楽しんだりと笑い声が聞こえるようになりました。「気持ちよかったですよ、ありがとう」の言葉に私たち職員も心がポカポカになってきます。

在宅支援

センター便り

暦のうえでは春です。時代と共に介護保険制度が変わり、平成十八年度の大幅な介護保険制度の改訂により介護予防に重点をおいた犬山白寿苑包括サブセンターが設置されました。犬山白寿苑在宅介護支援センターは、要援護高齢者からの相談に関する指導・助言・保健福祉サービスの情報提供、サービス利用申請の手続きの受付・代行地域の高齢者の実態把握などの役割を担ってきました。高齢者のみ世帯や、ひとり暮らし高齢者のみ世帯が増加し、高齢化が進むとともに、若年との同居世帯においても介護放棄が見られるなど状況が複雑化しています。このような中で、在宅介護支援センターの役割も変わってきました。来年度は包括との統合にむけての話し合われている状況です。世帯調査を引き続き行って行きますので御協力を宜しくお願いいたします。



寿考館松月町便り

新しい年が明け、お正月気分も少しは抜けてきた今日この頃の松月町です。今年は年明けから雪が多く、利用者様も、窓から外の景色を見ては、「寒そうだねえ!」「雪がきれいだねえ!」などと何度も感嘆符のついた会話をされています。また、「外は寒いでここにいるのが一番だわ。」といってくださいる方もいらつしやいます。

今、松月町のフロアの壁には、利用者様書き初めでかかれた習字の作品がズラリと貼られており、力作ばかりです。

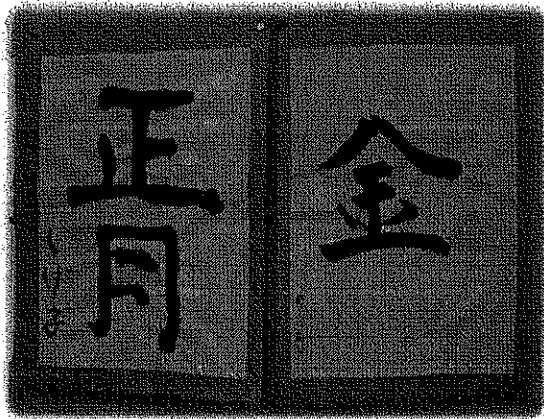
いつも大きな声で、歌を歌ったり、豪快に笑っておられるOさんは、恥ずかしがって、なかなか書いていただけなかったが、やっとご自分の旧姓と現在の姓を、遠慮がちに書いてくださいました。

いつも、静かで意思表示も少ないKさんは、ご自分でしつかりと筆を

持ち、字もとてもお上手で、そばで見ている感動したそうです。

ユニークなNさんは、これから一花咲かせようという楽しい夢を書かれていて、皆で大笑いだったそうです。

ワイワイと、賑やかで楽しそうな光景が目には浮かぶようです。この一年、こんな風にご利用の皆様が笑顔でいてくださるよう、お手伝いしていきたいと思えます。



正月(元旦)について

尚齒館便り

尚齒館では、毎年三が日はイベント行事委員会で話し合いを行い、イベントを催しております。

今年の三が日は、一月一日、二日に無料喫茶、一月三日は、レクレーションを実施させていただきました。無料喫茶では、特別メニューとして、もなか、バウムクーヘン、ドーナツなどを提供し利用者様に食べていただきました。皆様、他の利用者様と仲良くおしゃべりをされるなど喫茶を満喫されているご様子でした。



レクレーションでは、正月らしい出し物としてコマ、羽子板、たこあげなどを行いました。懐かしさの中で、心穏やかな時間が流れ、正月情緒を実感していただけたのではないかと思います。これからも利用者様が喜んでいただけるようなイベントをお開きして実施していきたいと考えております。

初釜とは

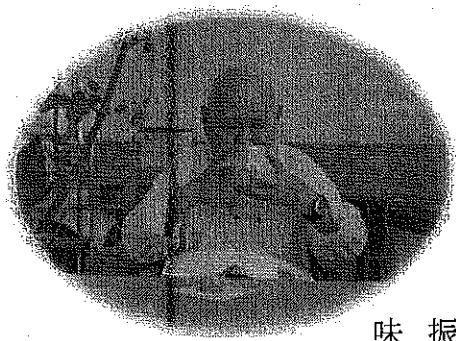
初釜とは新春を迎えて初めて開く茶会の事で、その歴史は古く「天王寺屋会記」という書物によると一五六五年（永禄八年）に津田宗達（そうたつ）という人物が自宅の大座敷に客を招いて催したのが最初だと言われています。それが江戸時代になると正月の初会を茶湯始（ちやのゆはじめ）や初茶湯と称するようになり、現在のように初釜と言われるようになったのは明治三十年代の事だそうです。

尚齒館初釜参加

白寿苑でも初釜を毎年催しており、尚齒館では一月六日に行われました。浅利様ご夫妻が食堂でお茶を点でて下さり、抹茶と茶菓子を利用者様や職員に

振る舞われました。皆さん美味しそうに抹茶や茶菓子を

食べてみえ「抹茶美味しかった」、
「風情があつていいわ」などとおっしゃられ、皆さん笑顔でとても楽しまれたご様子でした。



節分について

さて、もうすぐ節分がやってまいります。

白寿苑でも毎年職員扮する鬼にお年寄りが力いっぱい豆まきをしています。今回は、節分の由来について簡単にお話ししたいと思います。

「節分」とは本来、季節の移り変わる時の意味で立春、立夏、立秋、立冬の前日をさして言いました。特に立春が一年の初めと考えられることから次第に「節分」といえば春の節分を指すようになりました。

一般的には、豆まきは年男、または一家の主人が煎った大豆をまき、家族は自分の年の数だけ食べるとその年は病気になるはず長生きできるといわれています。白寿苑には百歳を超えるお年寄りも生活されています。お腹を壊されないか心配になりますね。また機会があれば報告したいと思います。皆様も力一杯豆をまき今年一年健康に過ごしましょう。

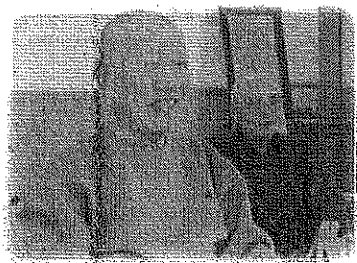


デイサービス便り

暦の上では立春を過ぎましたがまだまだ寒さの厳しい日が続いています。しかし、白寿苑のデイルームは晴れていると日差しが差し込みとても暖かくなります。お昼近くになるとまるで春のような陽気に包まれます。

先月は利用者様からのリクエストに応え、大縣神社へ初詣に行ってきました。利用者様からは「行きたくても行けない、初詣に行けて嬉しい」とのお言葉をいただきました。私たちも、利用者様と一緒に一年間の無事と平安をお祈りさせていただきました。

小春日和のデイルームに遊びに来てみてはいかがですか？職員一同お待ちしております。

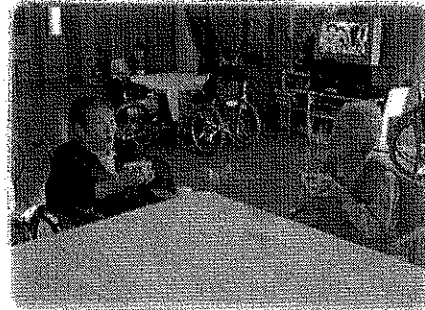
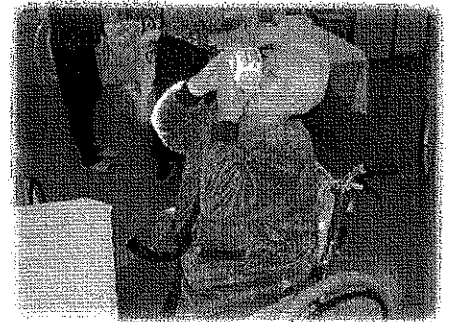


一月の行事

初釜(茶の湯)

毎年、新春を迎える一月に、各館毎に茶道の先生をお迎えし、利用者様に、お抹茶とお菓子を楽しんでいただくお茶会を催しています。

利用者様は、甘い物が好きの方が多く、お菓子を美味しく食べられ、その後でのお抹茶も、「私は作法がわからんからねえ」と言われながら、「美味しい、美味しい」と言って味わっておられました。中には、「美味しいからもう一服いただけんかな」と言われる方もおられ、風情を楽しみむ良い場となり、お抹茶の一服で、不思議と心が落ち着きました。利用者の方からも「ありがとうございます」との言葉をいただきました。ご協力いただきました。大塚先生、浅利先生には心より感謝申し上げます。



この度の初釜を、お引き受けいただきました先生をご紹介させていただきます。

(二月六日 尚齒館 初釜)

・浅利政彦様・浅利ヒサ様

(二月一七日、濫觴館 初釜)

(二月二四日 寿考館 初釜)

・大塚敏子先生

二月行事予定

三日 (水) 豆まき

六日 (土) ひばり理美容院さん

十六日 (火) 美容院さん

二十一日 (日) 映画鑑賞

嘱託医先生往診 毎週水曜日

皮膚科先生往診 二月四日

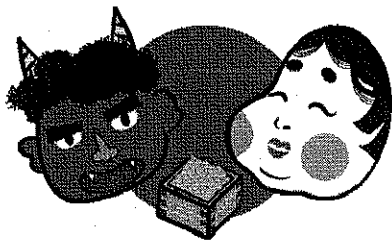
犬山病院先生往診 二月八日

二十日

理学療法士さんリハビリ

二月十八日

菓子販売 毎週火曜日



(全事業所共通)

TEL : 0568-67-6699

FAX : 0568-67-8910

(居宅・地域包括・在宅支援)

TEL : 0568-67-6684

FAX : 0568-67-8910

E-mail:hakujuen@i-hakujuen.or.jp

HP :http://www.i-hakujuen.or.jp

ナーシングホーム(特養)犬山白寿苑

デイサービスセンター犬山白寿苑

在宅介護支援センター
犬山白寿苑

敬愛
犬山白寿苑

地域包括支援センター
楽田地区サブセンター

犬山白寿苑 ショートステイ

犬山白寿苑 ケアマネージメントセンター